

令和 5 年 「北海道アイヌ生活実態調査」の実施結果について (概要)

1 調査の目的

この調査は、北海道におけるアイヌの人たちの生活実態を把握し、今後の総合的施策のあり方を検討するため、必要な基礎資料を得ることを目的として実施した。

2 調査の対象

この調査における「アイヌ」とは、「地域社会でアイヌの血を受け継いでいると思われる方、また、婚姻・養子縁組等によりそれらの方と同一の生計を営んでいる方」としている。

調査の対象となったのは、各市町村が把握することのできたアイヌの人たちであり、道内に居住しているアイヌの人たちの全数とはなっていない。

3 調査の時点

令和 5 年 1 0 月 1 日

4 調査の種類

次の 4 つの調査を実施した。

道が市町村に調査を依頼	(1) 市町村調査	アイヌの人たちが居住する市町村（以下、「アイヌ居住市町村」という。）を対象として、生活、教育の状況などを市町村が調査
	(2) 地区調査	各市町村のアイヌの人たちが居住する地区を対象として、生活保護、課税の状況などを市町村が調査
道が委嘱した調査員による アイヌの人へ面接調査	(3) 世帯調査	無作為抽出した世帯を対象として、家族、所得、住居等の状況などを調査員が、面接により調査 (有効回答数 2 9 5 世帯)
	(4) アンケート調査	世帯調査の実施世帯における 1 5 歳以上の世帯員を対象として、今後の対策や差別などを調査員が、面接により調査 (有効回答数 4 7 2 人)

5 調査の結果

調査の対象としたアイヌの人たちは、5,322世帯、11,450人であり、前回調査との比較では、249世帯、1,668人の減となっている。

(1) 「市町村調査」の結果

① 調査の対象としたアイヌの人たちの状況

区 分	今回調査	前回調査	増 減
アイヌ居住市町村数	60市町村	63市町村	▲3市町村
アイヌの世帯数	5,322世帯	5,571世帯	▲249世帯
アイヌの人数	11,450人	13,118人	▲1,668人

② 生活の状況〔生活保護率の状況〕

区 分	今回調査	前回調査	増 減
アイヌの人たち	41.0‰	36.1‰	4.9ポイント
アイヌ居住市町村	31.6‰	32.1‰	▲0.5ポイント

※ 生活保護率の単位は「‰」（パーミル＝千分率）

(2) 「地区調査」の結果

① アイヌの人たちが居住する地区類型別地区数

地区類型	今回調査	前回調査	地区類型の定義
都市型	376地区	374地区	主な産業が第二・三次産業で市街地を形成している地区
農村型	79地区	62地区	主な産業が農林業による地区
漁村型	86地区	100地区	主な産業が漁業による地区
民芸品製作型	1地区	1地区	主な産業が民芸品製作販売による地区
混合型	113地区	109地区	上記2以上の類型が相半ばしている地区
地区全体	655地区	646地区	

② 地区類型別世帯数・人数

地区類型	今回調査		前回調査		増 減	
	世帯数	人 数	世帯数	人 数	世帯数	人 数
都市型	2,365世帯	4,725人	2,421世帯	5,453人	▲56世帯	▲728人
農村型	560世帯	1,229人	572世帯	1,218人	▲12世帯	11人
漁村型	989世帯	2,327人	966世帯	2,622人	23世帯	▲295人
民芸品製作型	51世帯	98人	48世帯	109人	3世帯	▲11人
混合型	1,357世帯	3,071人	1,564世帯	3,716人	▲207世帯	▲645人

(3) 「世帯調査」の結果

① 世帯の年間所得の状況

区 分	今回調査	前回調査	増 減
100万円未満	5.8%	5.2%	0.6ポイント
100～199万円	14.2%	14.4%	▲0.2ポイント
200～349万円	26.1%	22.3%	3.8ポイント
350～499万円	23.1%	19.2%	3.9ポイント
500万円以上	21.4%	20.3%	1.1ポイント
わからない 未 回 答	9.5%	18.6%	▲9.1ポイント

② 生活意識

区 分	今回調査	前回調査	増 減
とても苦しい	21.0%	27.1%	▲6.1ポイント
多少困る程度	44.4%	47.8%	▲3.4ポイント
少しゆとりがある	28.8%	15.8%	13.0ポイント
豊かである	3.1%	1.0%	2.1ポイント
わからない 未 回 答	2.7%	8.3%	▲5.6ポイント

(4) 「アンケート調査」の結果

① 自分自身が、アイヌであることを理由に差別を受けた経験の有無

区 分	今回調査
差別を受けたことがある	29.0%
差別を受けたことがない	42.8%
わからない、不詳・未回答	28.2%

② 身近な人が、アイヌであることを理由に差別を受けたことを見聞きした経験の有無

区 分	今回調査
直接、見聞きしたことがある	38.1%
直接、見聞きしたことがない	27.8%
わからない、不詳・未回答	34.1%

③ 差別を受けた場面

区 分		最近3～4年	前回調査
就職のとき	自分自身	10.5%	27.3%
	身近な人	0.0%	0.0%
職場	自分自身	15.8%	45.5%
	身近な人	8.3%	0.0%
結婚のことで	自分自身	0.0%	18.2%
	身近な人	0.0%	83.3%
学校	自分自身	5.3%	36.4%
	身近な人	16.7%	16.7%
交際（つきあい）のことで	自分自身	5.3%	27.3%
	身近な人	8.3%	33.3%
家庭内	自分自身	5.3%	27.3%
	身近な人	0.0%	0.0%
行政	自分自身	5.3%	27.3%
	身近な人	0.0%	0.0%
SNSの書き込み等	自分自身	31.6%	—
	身近な人	58.3%	—
その他	自分自身	21.1%	9.1%
	身近な人	8.3%	0.0%

④ アイヌに対する差別の原因・背景（複数回答可）

区 分	今回調査	前回調査
アイヌ民族の歴史的・社会的背景に対する無理解	54.9%	46.3%
アイヌ文化に対する無理解	45.6%	23.0%
人 種 的 な 偏 見	69.9%	59.4%
経 済 的 理 由	34.5%	25.4%
学校教育においてアイヌ民族の理解を深める取組が不十分	42.7%	25.0%
そ の 他 ・ 未 回 答	22.3%	18.5%

⑤ SNS等インターネット上での中傷等への感じ方（複数回答可）（新規調査）

区 分	今回調査
恐 怖 ・ 不 安 を 感 じ る	12.1%
不 愉 快 で 憤 り を 感 じ る	37.5%
そのような書き込みを見かけても特に気にならない	10.4%
ほとんども見かけない	23.1%
インターネットやSNSをほとんど使わない	25.4%
そ の 他 ・ 未 回 答	9.3%

⑥ アイヌ施策推進法の認知度（新規調査）

区 分	今回調査
法律が制定されたことを知っており、内容も概ね知っている	14.6%
法律が制定されたことは知っているが、内容はよく知らない	48.3%
法律が制定されたことを知らなかった	34.3%
未回答	2.8%

⑦ アイヌ施策推進法における「差別禁止」の認知度（新規調査）

区 分	今回調査
知 っ て い る	36.7%
知 ら な か っ た	60.8%
未 回 答	2.5%

⑧ 「民族共生象徴空間（ウポポイ）」の訪問経験（新規調査）

区 分	今回調査
行 っ た こ と が あ る	40.3%
行 っ た こ と が な い	58.5%
未 回 答	1.3%